細野中学校　校長室便り

一期一会

自律　目標に向かって自分自身を律する
感謝　思いやりや感謝の気持ちをもつ
貢献　将来社会に貢献する態度を養う

2021.10.8　第 23 号

小林市戦没者追悼式

戦没者追悼式が１０月１日に忠霊塔前広場で行われました。

平成の時代は唯一戦争がなかった時代と言われます。終戦から７０年以上が過ぎ、平和が当たり前になった今、ややもすれば平和が当然であるかのごとく錯覚してしまいますが、決してそうではありません。今の平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊（たっと）い命と、苦難の歴史の上に築かれたものであることを、私たちは片時たりとも忘れてはいけません。

「生かされている」・・・私も戦争は経験していませんが、そんなことを考えた式典でした。

最後に、「平和への想いをテーマとする作文」で最優秀賞をとった大學梅乃さんの作文朗読がありました。内容は前号で紹介したとおりです。厳粛な雰囲気の中で読まれる作文は、聞く人の心に響く平和へのメッセージでした。

１学期終業に寄せて

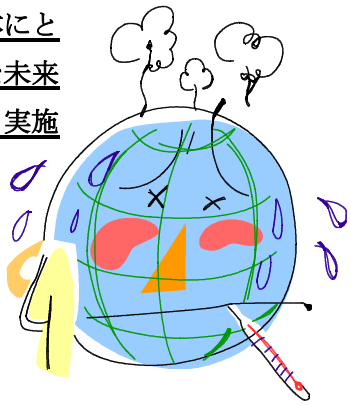
１学期の始業式で学校生活におけるキーワード「自律」「感謝」「貢献」について話しました。１年間の半分が過ぎた今、達成度について振り返ってもらいたいと思います。

自律　目標に対して自分でやると決めたことを計画的に実行してやり遂げられたか。
感謝　自分を支えてくれている周りの方に感謝の気持ちを表現できたか。
貢献　地域の行事やボランティアに参加するなど、地域のことを考えて行動できたか。

２学期からの取組について

キャリア教育の様々な学びの中で地域に出て行ったり、ゲストティーチャーから社会のいろいろな話を聞いたりすることで、地域貢献については何となく理解してきたことだろうと思います。

さて、私たちは、大人であっても子どもであっても社会を形成する責任をもっています。社会とは、人間だけでなく地球上に存在するすべてのものに対して、すなわち地球全体にとって幸福なものでなくてはなりません。そのために必要な力は、持続可能な未来を予見し、それに接近する目標を設定し、達成に向けた行動計画を策定し、実施につなぐ力です。



１０月２８日（木）に生徒会役員任命式があります。新生徒会役員には、すばらしい先輩方の後に甘んじることなく、「地球全体の幸福」について細野中学校として取り組んでもらいたいと思っています。
皆さんも生徒会の一員として協力をお願いします。

2014.10.4 京セラ名誉会長の稲盛和夫氏が、母校の鹿児島玉龍高校で「君の思いは必ず実現する」というテーマで高校生に向けて講演会をされました。一部抜粋して紹介します。

心は自分で手入れしなければならない

致知 2021.4

・・・自分だけよければいいという利己的な心を抑え、利他的な美しい心を発揮していくには、どうすればよいのでしょうか。そのことについて、先ほど紹介したイギリスの哲学者ジェームズ・アレンは、人間の心を庭に例えて、次のように表現しています。

> **人間の心は、庭のようなものです。それは知的に耕されることもあれば、野放しにされることもありますが、そこからは、どちらの場合にも必ず何かが生えてきます。**
> **もしあなたが自分の庭に、美しい草花の種を蒔かなかったなら、そこにはやがて雑草の種が無数に舞い落ち、雑草のみが生い茂ることになります。すぐれた園芸家は、庭を耕し、雑草を取り除き、美しい草花の種を蒔き、それを育み続けます。**
> **同様に、私たちも、もしすばらしい人生を生きたいのなら、自分の心の庭を掘り起こし、そこから不純な誤った思いを一掃し、そのあとに清らかな正しい思いを植えつけ、それを育みつづけなければなりません。**

このようにジェームズ・アレンは言っています。つまり、人間の心というものは、自分で手入れをしなければならないのです。放っておいたのでは、雑草が生い茂る庭のようになってしまいます。すばらしい草花が綺麗に咲いた庭のような美しい心にするためには、自分の心の状態をよく確認して、手入れをする必要があるということを彼は説いています。

雑草の生い茂る心のままに人生を生きていったのでは、人柄もひねくれた意地悪な性格の人間になっていきます。同時に、そういう悪い人間性を持った人の周囲には、その人間性に合ったように波瀾万丈で困難なことが次々と起こってくるようになります。

一方、先ほども言いましたように、綺麗な美しい心で生きていく人は、素晴らしい人間性、人柄、人格になると同時に、その人の周囲にも、その人間性、人柄、人格に合ったような素晴らしい出来事が起こってきます。仕事も順調にいき、会社も繁栄し、豊かで平和な家庭が築けるといったように、素晴らしい環境が周囲にできてくるわけです。心に抱く「思い」というものは、それほど偉大な力を持っているのです。

皆さんはいま、将来に向けて学校や塾で一所懸命に勉強していらっしゃると思います。もちろん、それもとても大切なことですが、さらに大事なのは、いまお話した心の手入れ、心の整理なのでです。

私は、「自分だけよければいい」という利己的で邪（よこしま）な心をなるべく抑え、思いやりに溢れた美しい利他の心が自分の心の大部分を占めるように、心の庭を手入れしていくようにしなければならないと言いました。実は、この自分の心を綺麗にするということは、宗教家の方々が修行や荒行を通じて行っておられます。厳しい修行を通じて自分を鍛え、心を整えるようにしておられます。

ですから、ともすると心を美しく綺麗なものにしていくということは、一般の我われが行うことではなく、宗教家の仕事のように思われがちです。しかし、決してそうではありません。

いま、こうして生きている誰もが、自らの心を美しいものにしていくことが、その人の人生にとって大変大事なことだということに気付き、「思い」が発するベースである心を綺麗にすることに努めなければなりません。